

# 馬も人も、 まだまだ 成長できる。



## み

それが降る寒い朝。その日もいつもと変わらず5時半に厩舎の扉が開く。広島大学馬術部の部員たちには、正月も夏休みもない。

冷たい水で馬の脚の泥を洗っている女子部員大上（おおうえ）あすみさん。手は真っ赤だ。馬が好きでないとできない。いや



単なる好きだけではない。「洗い方が乱暴だといきないかもしれない」「洗い方が乱暴だといやがります」と言いながらやさしくやさしく洗う。

厩舎に入ると一番奥に清将（せいしょう）がいた。古毛布をかけてもらっている。

広大の馬には代々、「清」という名前が付く。清虎、清熊、清隼：全て部員が名付け親である。清将は、2011年の春、京都からやってきた。総監督の笠置さん言う。「賢く、自我がととも強い。だから、部員にはまだまだ乗りこなせない」と。





My name is  
清将!



# 何

しろ彼は競走馬だった。生涯獲得賞金約1億7千万。その時の名前はエイシンボストン。品種はサラブレッド。前へ前へ速く走るという

DNAを持つ競走馬が大学の馬術部にやって来て障害馬となった。止まる、曲がる、跳ぶという動きを体で覚えなさいといかない。その調教は大変だ。特に自分で何でも決める清将を手なずけることはできるのか。馬を育てるには部員たちも成長していかなければいけない。

餌やり、厩舎の掃除と毎日世話をし続け、体調の変化を見る。性格を見極める。乗り手として信頼を得るために自分たちも練習を積む。賢い馬、清将に認められた時、優勝という目標に近づいていける。



## 【広島大学馬術部】

設立 / 1957年  
所属馬9頭  
部員14名 \*2014.2月現在

### 馬術部部訓

馬には乗ってみよ、  
人には添うてみよ。  
～何事もまずやってみよう～

